



創刊号



パナソニック松愛会
栃木支部

発行責任者:八重樫彰
編集責任者:吉田良和
TEL:028-663-0450

支部便り「とちぎ」の発行にあたり

日頃は松愛会の諸活動にご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、松愛会栃木支部の支部便り「とちぎ」を発行することになりました。本年度の支部総会でもご説明致しましたが、平成26年4月号より本部会報『松愛』が隔月発行となり会員の皆様への情報発信が従来より減少しております。栃木支部としましては、支部ホームページの充実等、タイムリーな情報発信に努めておりますが、メールアドレス登録会員の方が2割程度の現状を考えますとまだまだ会報誌の役割は大きいと考えております。

支部便り「とちぎ」はより多くの会員の皆様へのタイムリーな情報や支部活動のお知らせ、また会員の皆様方からの投稿による情報の伝達等、双方向の情報発信の場として当面年間3回の発行をしながら皆様と共に作り上げていきたいと思っております。

支部長 八重樫 彰

10月17日 第5回友愛懇親会を開催

平成27年3月に75歳以上になられる会員の皆様と支部役員を含め24名が参加し、昼食を含めて実施致しました。

皆さんお元気そうで会社時代の思い出や現在の健康法の話など大いに盛り上がりました。これまであまり面識のなかった人ともこの懇親会でお知り合いになれたと喜んでいただく事も出来ました。

支部からは、会員の年齢構成の実態や、社会貢献活動の状況などを説明させていただきました。

今年度から友愛対象になられた方々も4名出席された一方、健康上の理由で出席できなかった28名の皆様のご健康をお祈りすると共に来年の参加をお待ちしております。



9月20日 第8回足尾地区植樹を実施

実施日時：平成26年9月20日 8:00～16:30
植樹場所：上桐久保沢地区
植樹樹種：ミズナラ、コナラ、ブナ、カシ
植樹本数：260本（累計1,750本）
参加人員：37名（延べ 308名）



作業当日は暑からず寒からず、爽秋らしい絶好のコンディションに恵まれ、順調に予定した苗木を植え終わりました。8年前第1回に植えた苗は背丈を超える高さまで育っており、継続的に活動することの大切さを実感しました。植樹活動終了後、今年は国民宿舎「かじか荘」で昼食、そして温泉で汗を流しました。

支部役員 連絡先

何なりと
ご相談下さい！

- | | | | |
|------------|---------------------|------------|---------------------|
| ①支部長(テレビ) | 八重樫彰 ☎:028-656-2013 | ⑥地区委員(応機) | 坂田 卓 ☎:028-625-3246 |
| ②副支部長(事務機) | 山本夏樹 ☎:028-625-1425 | ⑦地区委員(電子) | 福山茂信 ☎090-2203-1719 |
| ③地区委員(事務機) | 赤井 勤 ☎:028-625-6225 | ⑧地区委員(テレビ) | 金子光男 ☎028-643-0798 |
| ④地区委員(テレビ) | 須永和良 ☎:028-645-5933 | ⑨地区委員(電子) | 植月雅彦 ☎028-662-2478 |
| ⑤地区委員(営業) | 吉田良和 ☎:028-663-0450 | | |

10月4日 第13回大谷地区クリーン作戦

恒例の大谷地区クリーン作戦は、松愛会とナルク栃木の会員、及び大谷自治会の方々を含め総勢60名の参加となり



ました。実施13回にもなると、大谷地区でも馴染みの行事になり、散歩されている方また家々から「ご苦労さまです」といった声もかけられるようになりました。また10月に宇都宮の社会福祉協議会で始めた「ボランティアポイント制度」の対象行事にもなり、参加



者にはポイントが付与され、後にポイントに応じ様々なものに還元できる制度です。但し事前に取り組み団体の登録申請が必要ですが、今後は社会貢献活動推進の一助になるかもしれません。

11月29日 節目懇談会（ニューみくらにて）



栃木支部の活性化のためには若年、中堅層の参画が欠かせません。一方でこの年代は仕事を続けておられる方々も多く支部行事への参加も限られています。65才は、このような方々にとっても第二の節目であると捉え、この機会に支部活動にもう一度目を向けて頂くチャンスとして昨年より節目懇談会を開催しています。支部イベントの内容を理解していただくことで「食わず嫌い」をなくし、時間に都合がつけばいつでも参加できるよう垣根を低くするのが目的です。昨年は18名の参加でしたが、本年からは昨年出席できなかった人と新たに65才になる人(1949年4月から1951年3月生まれまでの人)に参加頂けるように検討中です。対象の方には別途ご案内しますのでぜひ予定に入れておいてください。

「どんぐりから育苗」に参加しよう



栃木支部ではナルク栃木の活動に参加するかたちで、平成26年3月よりどんぐりから植樹用の苗を育てる活動を始めました。今年は5月から11月までの間、8回の活動を行いました。

毎年恒例の足尾植樹を実施していますが苗木約200本を現地調達しています(一部会員の育てた苗を持参)。しかし100万本の植樹を達成するには少しでも多くの苗木が必要です。清原小学校の生徒がどんぐりから苗木を育てこれを我々の手で植樹できるまでに大きくして足尾へ植える。地域・年代一体の活動に支部として参加しました。皆さんもぜひ自然環境の再生に手を貸してください。

今年は春から月1回のペースで圃場整地、草取りなどを計画しています。日時等詳細は次号でお知らせ致します。

問い合わせ先:地区委員 社会貢献担当 坂田 電話028-625-3246



2015年2月～の行事

●2月15日(日) 健康チャレンジ! 第2弾 ボーリング大会(於:宇都宮ゴールドレーン)

申し込み締め切りは1月25日(日)までですが、まだ間に合うかも・・・
お問い合わせは、植月雅彦地区委員まで。☎028-662-2478



●5月24日(日) 栃木支部年次総会

11月6日行ってきました！ 水ものがたり:渡良瀬川下流編



11月6日木曜日、第12回社会見学会を開催しました。第10回社会見学会からテーマを“水ものがたり”として、有名河川流域の水にまつわる暮らしや歴史を見聞しています。昨年(第11回)では、渡良瀬川の上流「足尾」を見学し、銅山に翻弄された人々の暮らしと足尾の歴史に触れて来ました。

今回はその続編で、渡良瀬川下流編として渡良瀬遊水地を中心に、明治から大正初期にかけて足尾鉍毒事件と闘った“田中正造 翁”に関する資料が残る「佐野市郷土博物館」や、足尾鉍毒被害防止のため造られた渡良瀬遊水地の陰で消滅していった「旧谷中村跡」などを見学しました。

「旧谷中村跡」では、秋風が吹き、一面を白いススキが覆うなかに、谷中村村民の生活を伺わせる住居遺跡が点在、ガイドの方の説明とともに往時の状況が目に見え、感慨を覚えました。

そのほかの見学ポイントでも、見識者の方々の丁寧な解説・説明を聞くことができ有意義な見学会となりました。

その他の見学ポイントでは、自然環境保全活動の成果で利根川を遡上する“鮭”の姿も見ることができ、社会生活や自然界に「水」が与える影響の大きさを感じた一日でもありました。

次回も“水ものがたり”を企画しようと思います。一緒に水が語る“ものがたり”聞きませんか。

10月11日 健康チャレンジ！パークゴルフ大会



素晴らしい秋晴れの中、支部健康づくり行事の一環とした「健康チャレンジ！パークゴルフ大会」を、パークゴルフ同好会10周年と併せ行いました。大会は、鬼怒川沿いの「鬼怒グリーンパーク白沢」のポピーとコスモスコースにて46名が参加し、2ラウンド36ホールで競い合いました。

開催に先立って、八重樫支部長と同好会の池貝代表からの挨拶及び、先日の「ねんりんピック」で活躍された鳥取さんの紹介などがありました。初めての方々も、同好会メンバーの指導を受けながら、ナイスプレー、珍プレーありで、笑いの中にも真剣にプレーを楽しむことができました。

プレー後の表彰式では飛び賞や特別賞などもあって、順位と賞品に一喜一憂し、笑いの中で楽しく大会を終えることができました。



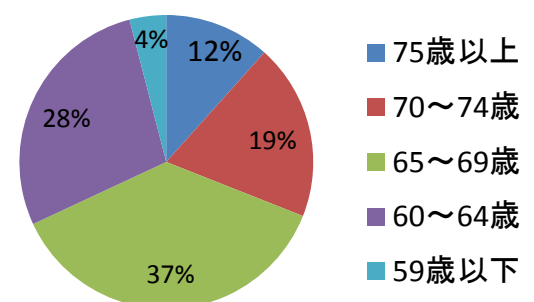
連載:グラフで見る栃木支部(第1回)

支部会員の構成について、グラフ等で明らかにしていきます。第1回は年齢別構成です。平均年齢は67.6歳。全国で4番目に若い支部です。

75歳以上の会員は全体の12%、栃木支部ではこの方たちを友愛会員として、年に一度友愛懇親会を開催するほか、お元気にお暮しかどうかの把握を行っています。

最も数が多いのは65才～69才で、60～64才を含めて今後の支部を担ってゆく方々ですが、お仕事等に忙しくなかなか支部行事に参加いただけない方もいます。

支部会員の年齢別構成



「居住地別・地域別活動」意見交換会

2014年8月24日(日)10:00～13:00

於：パナホーム北関東 本社

参加者：26名(内 地区委員8名)

2014年8月24日(日)10:00～パナホーム北関東本社にて、第一回目の「居住地別・地域別活動」についての意見交換会を行いました。この会合は、今年の総会でも提案しましたように、従来の事業場別の交流だけでなく、居住地域別の交流や活動のあり方について、会員同志で意見交換をしながら、方向性を確かめようと開催いたしました。

第一回目として、多くの会員が居住している「河内・清原地区」から、無作為に抽出した18名の会員の方々にお集まりいただき、意見交換会を行いました。



意見交換内容抜粋

- ・地域活動の対象は松愛会会員になると思うが、OBで会員になっていない方々も、カバーしていく事が重要ではないか。
- ・同好会活動については、地域活動とどのようにリンクしていくか？
- ・松愛会の存在意義はなんなのか？本質が問われてきている。
- ・松愛会の定款が無いので疑問に感じている。世代を超えた横断的活動が可能なのか？
- ・ナルクの会との関係は？・・・ナルクはパナソニック以外の方々も参加する地域活動。松愛会は対象がパナソニックOBの方々に限定される。
- ・今回の主旨はパナOB含めてその輪を広げていくことかと思っ
- ている。近くに居ても知らない人が多いと感じている。日常挨拶ができるようにしていきたい。
- ・地域自治会では、他社(HONDA等)もあり会社別グループ活動は色眼鏡で見られることを懸念している。本当に助けてくれるのは隣近所ではないか？向う三軒両隣との付き合いが大事。
- ・松愛会としての互助組織としての迅速性は感じている。
- ・現状、居住地での松愛会メンバーはどの位知っているのか？・・・ほとんど知らない。知り合いになりたいと思うか？・・・思わない。今は不自由と感じているか？・・・地域自治会で充分。
- ・地元出身者は地域でのつながり多く、転勤組とは違うかもわからない。
- ・松愛会、同好会の活動は活発であると感じている。
- ・メール連絡はあるが、電話連絡の生の連絡が無いのではないかと負担になると思うがそのような連絡網も大事ではないか？
- ・同事業部出身のメンバーとは付き合いがあるので大体わかるが、他事業部の方とはあまり面識がない。地域では、親戚も多く不自由は感じていない。
- ・松愛会行事は余り知り合いもなく、行事参加には消極的である。地域での知り合いも多くなれば松愛会行事にも参加しやすくなり、有意義な組織になるのでは。
- ・地域センターでの活動をやっていて、松愛会活動にはどちらかという
- と消極的だった。
- ・地域別活動は難しいのではないかと地域といっても範囲が広域と感じる。近所以外の必要性は疑問。
- ・色々な組織があるが、ゆるやかな連携としては有意義ではないか。
- ・知り合いになるためには、先ず会うこと・出会いが大事。そのツールとして地域別は有効なのではないか？
- ・独居の方には、定期的なケアが必要と感じている。会って話しをすることが大事。同好会も有効な組織と感じている。
- ・会員の情報、ニーズを掴むことが大事。
- ・地区委員以外の一般会員が相互情報は把握できているのか？個人情報
- 情報の関係で難しいが連絡網が必要ではないか？

まとめ

- ・出席者全員から率直な意見を出していただき、大変有意義な会議となりました。
- ・同じ地域に住む会員の情報は知りたいとの意見はあると理解しているが、どのような活動をしていくかは今後さらに議論を深めていく必要がある。
- ・知る手段をどのようなツールで共有するかは考慮する。
- ・事業場別地区委員担当制は、従来通り継続して推進していくが、地域別活動をどう組み込んでいくかを今後議論していく。
- ・無縁会員を無くす取り組みは必要であり、今後の議論を進めていく。